

兵庫 県
保険 協
医 会

西宮 支部
芦屋 ニュー
ス

No. 305

2012・6・15

〒662
-0074

発行

兵庫 県
保険 医 協 会

西宮・芦屋 支部

西宮市石劔町十八ー八

大森内科 医院内

連絡先 兵庫 県 保 險 医 協 会
電話 〇七八(三九三)一八〇一

Medical English #33

講師に恵まれた すぐに役立つレッスン

5月18日、西宮医療会館で「How to Take Medication」～医院・薬局での服薬指導～」をテーマに「医師・歯科医師・メディカルスタッフのための 英語で診療 Medical English #33」を開催。講師を Robert Conroy 氏、司会を坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)、アドバイザーを西野かおる先生(神戸薬科大学非常勤講師・みのお英語医療通訳研究会代表)が務め、医師・薬剤師ら19人が参加した。参加者の感想文を掲載する。



アドバイザーを務めた西野先生



いつものように参加者に丁寧な発音指導をする Conroy 氏

西宮医療会館で行われた保険医協会の英語の勉強会に初めて参加させていただきました。今回のテーマは「医院・薬局での服薬指導」という身近な、かつ大切なテーマでした。

最近の日本を取り巻く環境が激変し、とりわけ大企業では英語を社内の公用語としているところもあることをテレビで知り、私ももっと英語をスキルアップしないといけないと感じていました。

以前、海外旅行をされる予定の患者様から調剤薬局で渡される薬の説明書の英訳を頼まれたり、来院された海外の方の服薬指導に四苦八苦した苦い経験があったので、この会を楽しみにしていました。

研究会は、英国人のコンロイ先生によって進められ、分かりやすい発音と丁寧な説明で、初心者にも戸惑うことなく聞いていけました。

ビューハイッククリニックの坂尾先生、神戸薬科大学非常勤講師の西野先生と現場でご活躍の先生方に直接質問したり、また説明を聞けるといふ非常に恵まれたレッスンは、この会よりほかに見当たらないと誇らしく思いました。

テキストも復習しやすく、すぐに役立つ内容で、今度こそ挫折しないで続けようと思いを新たにしました。英語を使える環境に恵まれたいなあと思いつつ、次回を楽しみに、会場を後にしました。

【中央区・神戸医師協同組合 田中良枝】

西宮・芦屋支部 第32回総会記念市民公開講演会 ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー コンサート

日時：7月21日(土) 14時30分～
総会議事 14時～ 懇親会 16時45分～

会場：西宮市立勤労会館大ホール
演者：歌手・バンドウーラ奏者
ナターシャ・グジー さん

入場料：無料
※どなたでもご参加いただけますが、できる限り事前申し込みをお願いします。



今年の総会記念市民公開講演会は、6歳の時にチェルノブイリ原発事故で被曝した体験を持つ歌手でバンドウーラ奏者のナターシャ・グジさんをお呼びしました。ウクライナの民族楽器バンドウーラの調べとともに、水晶の歌声をお楽しみください。コンサート中には、チェルノブイリ原発事故の体験についてもお話しいたします。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

(撮影：広河隆一)

ナターシャ・グジーさんご略歴：
ウクライナ生まれ。ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

◆お問い合わせは、協会事務局 岡林・山田・伊藤まで Tel:078-393-1803 ◆

職員接遇研修会

クレーム対応への「裏ワザ」聞いた

5月12日、西宮市大学交流センターで「接遇の基本とクレーム対応」をテーマに職員接遇研修会を開催。大手前短期大学准教授の水原道子先生が講師、広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)と北井明先生(芦屋市・北井内科クリニック)が司会を務め、医師・メディカルスタッフら48人が参加した。参加者から寄せられたアンケートを紹介する。

・聞きやすく勉強になったので、あつという間でした。技術と接客態度は大切だと感じました。今後も患者さんに来院して良かったと思ってもらえるために、日々努力していきたい。(看護師)



参加者同士の実技も交え、楽しい研修となった

・「こういう対応をしたら患者さんが余計に怒る」等、クレーム対応への裏ワザがたくさん聞けて、勉強になりました。クレームの芽を摘むということもスタッフで協力してやっていきたい。(受付)

・日々業務をしていると、気をつけているつもりですが、研修を受けることによって再度見直されなければいけないことがあると分かりました。(受付)

・水原先生が優しい笑顔で、優しい声で楽しくお話してもらえて、来て良かったで



講師を務める水原先生

第28回漢方研究会

慢性咳嗽の実践的な漢方療法を解説

5月12日、西宮神社社会館で「慢性咳嗽の漢方治療」をテーマに第28回漢方研究会を開催。川崎医科大学総合内科学I教授の沖本二郎先生が講師、川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)と長光由紀先生(伊丹市・ウイング調剤薬局)が司会を務め、医師34人・薬剤師37人が参加した。



慢性咳嗽に対する漢方療法について解説する沖本先生

沖本先生は、「普通感冒に対する葛根湯の臨床効果」、「インフルエンザ治療における麻黄湯の役割」、「感冒症状が遷延した時期における小柴胡湯の効果」など、風邪の時期や種類に応じた漢方薬の使い分けとその効果について、多数の臨床データを用いて詳細に解説。「麦門冬湯が効かなかった場合はどうするか」など、慢性咳嗽に対する漢方薬の実践的な選択法についても説明した。

また、日本は漢方と西洋医学の両方を取り入れた「和洋折衷医学」が適しているとしたうえで、具体的にCOPDに対する和洋折衷療法なども紹介。このほか、WHOの健康の定義、漢方における「健康」の条件など、漢方学の基本的な考え方についても話題が及んだ。

会場からは、「漢方薬と西洋薬はどのように組み合わせればよいか」、「漢方薬の中止の判断はどのようにすればよいか」など、実践的な質問が相次ぎ、熱心な質疑応答が行われた。

世話人会だより

西宮・芦屋支部は5月25日に西宮医療会館で世話人会を開催。3人が参加した。

【報告】

- ① 第28回漢方研究会 (5・12)
- ② 職員接遇研修会 (5・12)
- ③ 英語で診療 Medical English #33 (5・18)
- ④ 国会議員との懇談会〜第2回ファイアサイド・ディスカッション〜 (5・26)

【予定・企画】

- ① 西宮敬愛会病院との懇談会 (6・15)
- ② 第32回支部総会 (7・21)
- ③ 毎日の診療に役立つiPad・iPod・iPhone (仮) (8・4)
- ④ 被災地の医療の現状講演会 (8・4)
- ⑤ 新規開業医交流会 (8・25)
- ⑥ 保険請求事務講習会 (9・1〜2)
- ⑦ 健康と医療について語り合う会 (9・12)
- ⑧ 第29回在宅医療研究会
- ⑨ 英語で診療 Medical English #34
- ⑩ 英語で診療 Medical English #35
- ⑪ 第11回胸部X-P読影会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。